



新しい学校作り

参画・協働・共汗・共創

川中島小学校長 榊原 誠



コミュニティ・スクール川中島小学校の挑戦

笑顔 やる気 絆が深まる  
川っ子パワー

2010年度子どもスローガン



子どもコミュニティ



野口宇宙飛行士報告会に参加8 / 5

# めざすコミュニティの姿

将来の姿を 夢を 語り合うコミュニティ

コミュニティの活動を通して  
学校のめざす姿を語り合います  
豊かな子どもの姿を語り合います  
保護者・家庭のめざす姿を語り合います  
地域のめざす姿を語り合います



地域が学校を支え、学校が地域に貢献する  
川中島コミュニティ

- ・ ホームページの運営・更新
- ・ 広報紙の発行
- ・ 掲示板
- ・ あさごはん食べた？



2004・2006・2007・2010年度J-KIDS大賞都道府県優秀校受賞

# 教育活動を推進する川中島コミュニティ

子どもの特長・実態を生かした具体的な教育活動を  
地域の方々と手を携えて推進します！

- ・川中島プランの創造
- ・地域に根ざした教育課程と教育方法の充実
- ・英語活動を中心とした国際教育の推進
- ・環境教育への取り組み
- ・教育ボランティアの編成

**子どもの自己肯定感・自尊感情を育む教育活動**

## 1年の取り組み

昔の名人から学び 小さな名人に



2年の取り組み

安心・大好き・川中島



3年の取り組み

あ 渋い 地域伝統文化



## 4年の取り組み

長十郎梨発祥地・  
知らなかった廃棄物減量指導員



## 5年の取り組み

ヨーイ スタート カット  
川っ子米



6年の取り組み



日本の心和の心・キャリア教育



若草級の取り組み

じゃんけんぽん





## ゲストチャーターを招いた授業を さまざまに展開しています

韓国文化体験  
国際理解体験



今年も

- ・東芝科学館
  - ・味の素
  - ・サントリー
  - ・東京電力
  - ・東京ガス
  - ・箏・能・三味線
  - ・お茶・巫女舞
  - ・生け花・よさこい
  - ・多摩川クラブ
  - ・中日球団井端先輩
  - ・映画関係者
  - ・野口宇宙飛行士
  - ・地域の皆さん
  - ・コミュニティ
  - ・パナソニック教育財団
- 等々計画満載

映画制作活動  
野口さんも出演



中本賢さんと梨学習



井端先輩の授業

## 地域との連携が深まっています



## 多彩な教育活動が実践されています



地域が学校を支え、学校が地域に貢献しています！

# 学校教育全体構想

学校力  
子ども力  
教師力  
保護者力(家庭力)  
地域力

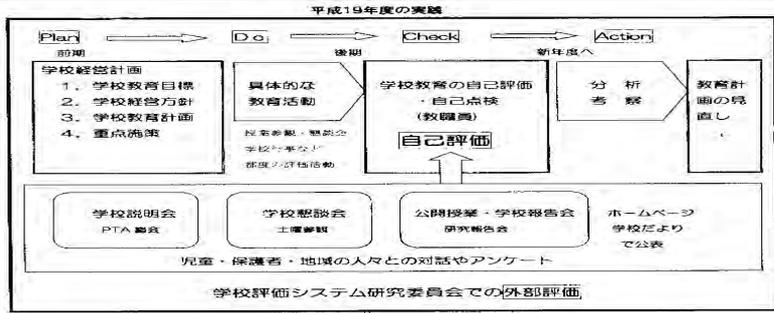
## 平成22年度 川崎市立川中島小学校の学校教育全体構想



# 元気が出る学校評価

川中島小では、一人一人の子どもによりよい育ちを促すために、保護者・地域住民と手を携えた教育活動をめざして取り組んでいます。その背景には、学校運営についての説明・発信・公開などを通して共通理解を図るように努めながら、川中島コミュニティ学校運営協議会をはじめ、子どもたち・保護者・地域住民の方々の声を反映させ、共に、学校教育活動の成果と課題を捉えてきた「学校評価」の積み上げをしています。

昨年度、文科省より、コミュニティ・スクール研究および学校評価システム研究の指定を受けたことをふまえ、保護者・地域住民の方々に、よりご理解をいただく学校評価を、「元気の出る学校評価」として取り組んでいます。



川中島小の学校評価システム

# 元気が出る学校評価

## 学校関係者評価

学校教育目標「めざす子ども像」の具現化・達成状況

4つの学校教育目標の観点に  
そって4項目4内容を評価する  
ようにしています。また評価内  
容を詳しく説明しながら評価し  
ていただくようにしています。  
評価活動を通しながら、学校  
教育について知っていただき  
さらに理解を深めて頂ける様  
になっています。

- ① そう思われる番号（記号）を○で囲んで下さい。
- ※ 4 とてもよい、成果が大変上がっている      3 よい、成果が上がっている  
2 あまりよくない、改善点がある                  1 全くよくない、大いに改善点がある  
? よくわからない

	今年度の重点施策	取り組みについて	子どもたちの様子から
◎知識を磨き、正しく理解できる児童を育成する。(知) →「みんなで考え、よくわかる子」			
①	<b>国際科共同研究の継続</b> 昨年度まで、市の推進校でした。今年度も本校の子どもたちに培ってきたい「豊かな言葉で思いを伝え合う」ことを大切にしています。昨年度も、この研究を受け、朝の会などで活発にスピーチ活動や言葉遊びなどをしてきましたが、日課表には朝の会の時間が引上されていなかったため、今年度から朝の会時間内に「スピーチ活動」を継続して実施しています。	4 3 2 1 ?	4 3 2 1 ?
②	<b>学習状況調査の分析と対応</b> プロジェクトとして、反復継続・研修活動委員会があり、そこで分析をし、今後の指導に役立てています。子どもたちの実態から、基礎学力の定着の必要性を感じていますので、火曜日の朝15分間を使って読書タイム(図書ボランティアによる読み聞かせ活動も含まれる)、木曜日の朝15分間を使って、くんたくタイム(算数の計算問題)を引き続き行っています。また、家庭学習が少ないという実態を理由に学校説明会で話し、保護者に理解と協力を求めました。また、5年生の学習状況調査の結果が出たので、5年の三者面談時に公表するとともに、今後の課題について検討中です。	4 3 2 1 ?	4 3 2 1 ?
③	<b>特別支援コーディネーター推進の協働</b> 本校も特別な配慮の必要な児童が多いです。そこで、週1回、特別支援教育講師を招いて、取り出し支援をしたり、教育ボランティア(大学生4人)に協力していただいています。また、コミュニティ・スクールとしての要望もあり、委員の方々にも、その状況を知ってもらい、どのような関わりができるのか模索中です。	4 3 2 1 ?	4 3 2 1 ?
④	<b>英語活動の充実</b> 今年度も引き続き、英語非常勤講師としてエドモンド・ダンカン氏にはほぼ週に1回のペースで指導いただいています。また、コミュニティ・スクールとしての要望もあり、中学から英語担当教師が兼任しました。火曜日にダンカン氏、水曜日はその教師が引き継ぐという流れを大切にしています。子供たちが楽しめるような活動中心の英語活動を展開しています。昨年度は各学年年間10時間程度の計画でしたが、今年度は15時間程度に活動を広げていく予定です。	4 3 2 1 ?	4 3 2 1 ?

# 元気が出る学校評価

## 学校評価の公表

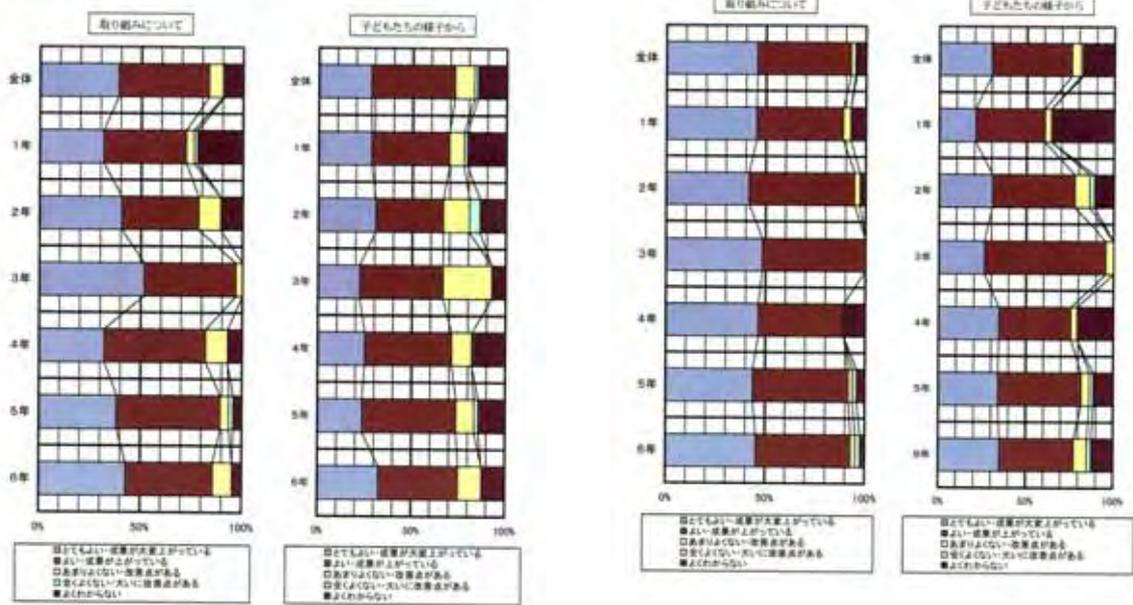
＜学年別＞ ◎みんなで考え、よくわかる子  
◎みんなで考え、よくわかる子  
活動の充実状況

今年度も引き続き、英語非常勤講師としてエドモンド・ダンカン氏にはほぼ週に1回のペースで指導いただいています。また、コミュニティ・スクールとしての要望もあり、中学から英語担当教師が兼任しました。水曜日にダンカン氏、火曜日はその教師が引き継ぐという流れを大切にしています。子供たちが楽しめるような活動中心の英語活動を展開しています。昨年度は各学年年間10時間程度の計画でしたが、今年度は15時間程度に活動を広げていく予定です。

＜学年別＞ ◎みんなで考え、よくわかる子  
活動の充実状況

これまでが中学校や学校とは、英語科教師部や体育科、5年生の英語の学習にやりがきを感じるなど、意欲を持ってまいりました。その成果もあって、6年生がリスニングの中学校へ進学することができています。今年度も引き続き、英語非常勤講師としてエドモンド・ダンカン氏にはほぼ週に1回のペースで指導いただいています。また、コミュニティ・スクールとしての要望もあり、委員の方々にも、その状況を知ってもらい、どのような関わりができるのか模索中です。

わかりやすく工夫して公表しています



# 元気が出る学校評価

## 自己評価書

自己評価（前期）		外部評価（前期）
◎知識を働き、正しく理解できる児童を育成する。（知）→「みんなで考え、よくわかる子」		
① 国語科共同研究の継続	<p>昨年度まで、市の推進校でした。今年度も本校の子どもたちに培っていききたい「豊かな言葉で思いを伝え合う」ことを大切にしていきます。昨年度も、この研究を受け、朝の会などで活発にスピーチ活動や言葉遊びなどをしてきましたが、日課表には朝の会の時間が割上されていなかったため、今年度から朝の会の時間を削りました。また、全員公開授業を振替。すでに6月・7月・9月に公開授業を行いました。</p> <p>教職員アンケートでは、80%が「成果が上がっている」と答えています。保護者・地域アンケートでは、75%が「よい取り組みだ」と答えています。ただ、35%の方は、子どもたちの様子からは、「その成果がよくわからない」と答えており、今後の授業公開をどのようにアピールしていくかが課題です。</p>	
② 学習状況調査の分析対応	<p>プロジェクトとして、反復継続・研修活動委員会があり、そこで分析をし、今後の指導に役立てています。子どもたちの学習状況調査の結果から、基礎学力の定着の必要不可欠な朝の朝15分間を使って読書タイム（図画工作・算数）による読み聞かせ活動も含まれる。木曜日の朝15分間を使って、くんぐんタイム（算数の計算問題）を引き続き行っています。また、家庭学習が少ないという実態を率直に学校説明会で話し、保護者に理解と協力を求めました。また、5年生の学習状況調査の結果が出たので、5年の7月の三者面談時に公表するとともに、今後の学習について検討しています。</p> <p>教職員アンケートでは、71%が「成果が上がっている」と答えています。ただし、「大変成果が上がっている」と答えたのは、8%にとどまり、くんぐんタイムなどの取り組みの成果を引き続き見ていくことが大切だと感じています。保護者・地域アンケートでは、84%が「よい取り組みだ」と答えています。72%が、子どもたちの様子から、「成果が上がっている」と答えています。児童の80%も反復継続の活動は大切だと答えています。</p>	

自己評価を分析して自己評価書を作成します

自己評価書をもとに学校関係者評価委員の皆さんが学校関係者評価書を作成します。

# 元気が出る学校評価

## 学校関係者評価書

自己評価（前期）	学校関係者評価（前期）
◎知識を働き、正しく理解できる児童を育成する。（知）→「みんなで考え、よくわかる子」	
① 国語科共同研究の継続	<p>昨年度まで、市の推進校でした。今年度も本校の子どもたちに培っていききたい「豊かな言葉で思いを伝え合う」ことを大切にしていきます。昨年度も、この研究を受け、朝の会などで活発にスピーチ活動や言葉遊びなどをしてきましたが、日課表には朝の会の時間が割上されていなかったため、今年度から朝の会の時間を削りました。また、全員公開授業を振替。すでに6月・7月・9月に公開授業を行いました。</p> <p>教職員アンケートでは、80%が「成果が上がっている」と答えています。保護者・地域アンケートでは、75%が「よい取り組みだ」と答えています。ただ、35%の方は、子どもたちの様子からは、「その成果がよくわからない」と答えており、今後の授業公開をどのようにアピールしていくかが課題です。</p>
② 学習状況調査の分析対応	<p>プロジェクトとして、反復継続・研修活動委員会があり、そこで分析をし、今後の指導に役立てています。子どもたちの学習状況調査の結果から、基礎学力の定着の必要不可欠な朝の朝15分間を使って読書タイム（図画工作・算数）による読み聞かせ活動も含まれる。木曜日の朝15分間を使って、くんぐんタイム（算数の計算問題）を引き続き行っています。また、家庭学習が少ないという実態を率直に学校説明会で話し、保護者に理解と協力を求めました。また、5年生の学習状況調査の結果が出たので、5年の7月の三者面談時に公表するとともに、今後の学習について検討しています。</p> <p>教職員アンケートでは、71%が「成果が上がっている」と答えています。ただし、「大変成果が上がっている」と答えたのは、8%にとどまり、くんぐんタイムなどの取り組みの成果を引き続き見ていくことが大切だと感じています。保護者・地域アンケートでは、84%が「よい取り組みだ」と答えています。72%が、子どもたちの様子から、「成果が上がっている」と答えています。児童の80%も反復継続の活動は大切だと答えています。</p>
③ 特別支援	<p>本校も特別支援の必要な児童が多いです。そこで、週1回、特別支援教育講師を呼んで、取り出し支援をしたり、教育ボランティア（大学生4人）に協力していただいたりしています。また、コミュニケーションスクールとして、委員の方々とともに、その状況を知ってほしい、どのような関わりができるのか検討中です。</p> <p>教職員アンケートでは、87%が「成果が上がっている」と答えています。保護者・地域アンケートでは、79%が「よい取り組みだ」と答えています。ただ、27%の方は、子どもたちの様子からは、「その成果がよくわからない」と答えており、今後の授業公開をどのようにアピールしていくかが課題です。</p>

学校評価の活動を通して、学校が地域が

- ・ より身近になります
- ・ 学校理解が深まります
- ・ 共感するようになります
- ・ 応援団になります

子ども・教職員・保護者・地域が元気になる！！

自己評価（前期）	学校関係者評価（前期）
◎知識を働き、正しく理解できる児童を育成する。（知）→「みんなで考え、よくわかる子」	
① 国語科共同研究の継続	<p>昨年度まで、市の推進校でした。今年度も本校の子どもたちに培っていききたい「豊かな言葉で思いを伝え合う」ことを大切にしていきます。昨年度も、この研究を受け、朝の会などで活発にスピーチ活動や言葉遊びなどをしてきましたが、日課表には朝の会の時間が割上されていなかったため、今年度から朝の会の時間を削りました。また、全員公開授業を振替。すでに6月・7月・9月に公開授業を行いました。</p> <p>教職員アンケートでは、80%が「成果が上がっている」と答えています。保護者・地域アンケートでは、75%が「よい取り組みだ」と答えています。ただ、35%の方は、子どもたちの様子からは、「その成果がよくわからない」と答えており、今後の授業公開をどのようにアピールしていくかが課題です。</p>
② 学習状況調査の分析対応	<p>プロジェクトとして、反復継続・研修活動委員会があり、そこで分析をし、今後の指導に役立てています。子どもたちの学習状況調査の結果から、基礎学力の定着の必要不可欠な朝の朝15分間を使って読書タイム（図画工作・算数）による読み聞かせ活動も含まれる。木曜日の朝15分間を使って、くんぐんタイム（算数の計算問題）を引き続き行っています。また、家庭学習が少ないという実態を率直に学校説明会で話し、保護者に理解と協力を求めました。また、5年生の学習状況調査の結果が出たので、5年の7月の三者面談時に公表するとともに、今後の学習について検討しています。</p> <p>教職員アンケートでは、71%が「成果が上がっている」と答えています。ただし、「大変成果が上がっている」と答えたのは、8%にとどまり、くんぐんタイムなどの取り組みの成果を引き続き見ていくことが大切だと感じています。保護者・地域アンケートでは、84%が「よい取り組みだ」と答えています。72%が、子どもたちの様子から、「成果が上がっている」と答えています。児童の80%も反復継続の活動は大切だと答えています。</p>
③ 特別支援	<p>本校も特別支援の必要な児童が多いです。そこで、週1回、特別支援教育講師を呼んで、取り出し支援をしたり、教育ボランティア（大学生4人）に協力していただいたりしています。また、コミュニケーションスクールとして、委員の方々とともに、その状況を知ってほしい、どのような関わりができるのか検討中です。</p> <p>教職員アンケートでは、87%が「成果が上がっている」と答えています。保護者・地域アンケートでは、79%が「よい取り組みだ」と答えています。ただ、27%の方は、子どもたちの様子からは、「その成果がよくわからない」と答えており、今後の授業公開をどのようにアピールしていくかが課題です。</p>



# 川中島小レインボープラン

## 重点実行方針(5ヶ年計画)

### 1. 学校運営の基本方針

- ・学校の主役は21世紀をつくる子どもたち
- ・子どもたちがいきいきと心豊かに学ぶ学校づくり
- ・学校評価を積極的に取り入れた学校運営
- ・教職員の人材育成(子どもや地域から学ぶ教職員)
- ・新学習指導要領の周知(20年度)移行(21・22年度)、完全実施(23年度)に向けて、年次ごとに計画を立てて『川中島小教育プラン』を確立する。

### 4. 教職員のあるべき姿

- ・子どもと向き合う
- ・協働意識の確立
- ・自己研鑽の姿勢
- ・後輩の育成(世代交代・人材育成)
- ・新教育課程研修の充実(新学習指導要領の学習会)

### 2. 教育活動基本計画(川中島小教育プラン)

- ・地域に根ざした教育課程の創造
- ・子どもの実態にそくした、きめの細かい指導計画と授業実践(経年研修の充実)
- ・地域、保護者参画学習の推進(参画を実感する実践)
- ・新学習指導要領への移行計画の作成
- ・子ども主体の活動計画(子ども参画推進)
- ・地域学習副読本の作成(従来のものにとらわれない新しいスタイルを)  
⇒『川っ子学習ハンドブック』(学習副読本)模索

### 3. コミュニティ・教育課程への参画

- (子どもの安全対策コミュニティ) 地域パトロールの連携推進
- (情報発信コミュニティ) ホームページ
- (小中連携コミュニティ) 川中島中、藤崎小との連携コミュニティ・スクール
- (学校評価コミュニティ) 前後期2回の取り組みと課題・成果・改善の公表
- (ファンコミュニティ) ファンドのあり方、事業計画の推進運営

# 川中島小レインボープラン

## 重点実行方針(5ヶ年計画)

### 5. 学校施設の改善『平成22年度大規模改修プラン』

- ・行政主体から地域住民、保護者、子ども参画の学校づくり(学校施設づくり)
- ・スクールの推進
- ・地域、保護者、子ども、教職員の協働・参画(川中島コミュニティ)
- ・相互信頼に基づき自立と自己決定を推進する学校運営協議会
- ・6コミュニティ活動の充実と元気が出る取り組み  
(学び創造コミュニティ)子ども、地域にあったコミュニティの核となる施設
- ・学校に対する愛着と誇りを共有する学校(学校施設)をつくる
- ・コミュニティルームの設置
- ・別紙平面プラン参照(19年11月現在の素案)

### 6. 平成24年度(5年次)までに実現を目指す事項

- ・地域と共に青写真を作成した大規模改修&改築(前5項参照)
- ・教育課程の実践をもとに、『川っ子学習ハンドブック』(学習副読本)の発行
- ・野外学習施設の設置
- ・コミュニティふれあい活動の確立(地域の方々とのふれあい活動)  
お年寄りとの交流 幼児との交流  
花壇作り 花いっぱい運動 挨拶運動 清掃活動 交流会
- ・ワークショップ型の学習発表会(幼・小・中・高連携・地域連携)  
相手意識とコミュニケーション力の育成
- ・川中島小教育プラン(新学習指導要領と川小地域体験学習をもとに)
- ・4色運動会の子ども、保護者、コミュニティの共催運営
- ・子ども集会活動の計画的実践(子ども主体)
- ・子どもの悩み相談の充実(カウンセラーの招聘)
- ・職業体験プログラム(地域商店・企業・公的機関)
- ・研究報告会の毎年実施(20年は英語活動の実践発表を予定)
- ・国際交流の推進(19年12月3日の取り組みを発展継続)
- ・教育課程の中に人権プログラムを組み入れる
- ・授業日数と授業時数の確保(現状の206日を増加)
- ・自主給食の設定(夏期授業期間の給食実施=授業増加分) 有償

【19年度後半から取り組むファンド・コミュニティ】

- ・コミュニティ・サポーター(1時間あたり500円の謝礼)
- ・コミュニティ業務の推進
- ・教職員の多忙化解消支援
- ・コミュニティ共催学校行事への支援
- ・大学生教育ボランティアに交通費の補助(1日500円)
- ・コミュニティ掲示板の設置(2ヶ所:広報活動の一環)



# 新しい学校作り

## to be continued...

### 川崎市立川中島小学校